

事務事業評価シート

H27(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	消防本部
	09039-1	車両整備費	室名	消防総務室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財	会計 一般会計
	基本施策	05:防災力の強化	務	款 消防費
	施策の方向	05:消防力の充実・強化	科	項 消防費
戦略プロジェクト		目	目 消防施設費	

② 目的・概要	対象	市民
	目的	常備・非常備に配備している消防車両(消防自動車、救急自動車等)を計画的に更新し、消防力の充実強化を図ることを目的とする。
	概要	各車両の経過年数及び運用状況を勘案した計画に基づき更新する。

		27年度	28年度
①	名称 各年度更新等計画車両台数	計画値	
	補足	実績値 単位	4 台
②	名称 各年度更新等完了車両台数	計画値	
	補足	実績値 単位	4 台
③	名称	計画値	
	補足	実績値 単位	
④	名称	計画値	
	補足	実績値 単位	

年度計画				年度実績					
				・常備 小型動力ポンプ付水槽車 新規配備 ・常備 資機材搬送車 新規配備 ・非常備 第5分団平尾車庫 小型動力ポンプ付普通積載車 更新 ・非常備 第10分団木崎鳥居車庫 小型動力ポンプ付普通積載車 更新					
④ 事業の計画・実績	事業費	事業費	計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	1,517	平均給与額×③	
		国庫支出金				一般職員人件費 ②	1,517		
		県支出金				所要人員 ③	0.20		
		地方債		50,100	49,100	臨時職員人件費 ④			
		その他				受益者負担額 ⑤			
		一般財源		5,514	6,250	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥	
		再掲	翌年度への繰越額						
			前年度からの繰越額						
			総人件費		①	1,517			
			総コスト		⑥	56,867			

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	常備については、小型動力ポンプ付水槽車及び資機材搬送車を新規配備することにより、より充実した活動が行える体制が構築できた。 また、非常備は、小型動力ポンプ付普通積載車2台を更新することにより、それぞれの分団の災害出動時の迅速、的確性が増し消防力の充実強化が図れた。	総合判定 A 順調に進んだ
	【反省点・課題】	非常備車両は配備台数が35台と多く計画的な更新が必要である一方、亀山消防署北東分署の開署を踏まえ、車両の適正な配置について、検討する必要がある。	
	【改善の方向性】	現在の市の実情に応じた車両の適正配置について、引続き検討を進める。なお、非常備消防車両に関しては整備計画を策定する。また、車両の更新にあたっては、より有利な財源の確保に努める。	
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 消防総務室長 宮崎 郁太郎